

大学におけるマンガに関する教育

—アドミッションポリシー,カリキュラムポリシー,ディプロマポリシーの分析—

岩崎保道¹

(¹高知大学評価改革機構)

Education Regarding Comics in College:Analysis of Admission, Curriculum, and Diploma Policies

Yasumichi Iwasaki¹

¹Kochi University Division of Evaluation Reform

Abstract:This paper summarizes and analyzes the situation of education regarding comics in college. To do so, data are put together and analyzed from the viewpoints of admission, curriculum, and diploma policies, and the meanings of education regarding comics in college are discussed. Recently, the number of colleges that give lectures about comics has increased. On the other hand, colleges are obliged to offer educational programs to students for attaining their educational goals in 4 years and send them to society. Accordingly, the summarization and analysis of the three policies are considered important for grasping the educational contents in college.

キーワード:マンガ,大学,アドミッションポリシー,カリキュラムポリシー,ディプロマポリシー

Keyword:Comics,College,Admission Policie,Curriculum Policie,Diploma Policie

はじめに

本稿は、大学におけるマンガに関する教育の状況を整理・分析するものである^(注1)。その検討方法として、アドミッションポリシー、カリキュラムポリシー、ディプロマポリシーの観点から整理・分析し、さらに、大学においてマンガに関する教育を行う意義について考察する^(注2)。マンガは、芸術文化における新しい学問領域であるが、教育課程として成立した背景には、マンガ熱の高まりや学生ニーズの多様化など、社会的要望が大きくなってきたことが背景にあると思われる。これは、マンガが芸術文化領域における学問として、社会的な理解が深まったことを意味する。

一方、大学は学生に対して、教育目標を4年間で達成できるよう教育プログラムを提供し、一定の教養・専門知識及び技能や技術を修得させて社会に送り出す責任を負う。上述した三つのポリシーは、いわば大学が学生に対して明示すべき契約内容の一つといえる。中央教育審議会(2005)は、社会からの信頼に応え、国際通用性を備えた学士課程教育の構築を実現するための改革として「明確な「三つの方針」に貫かれた教学経営を行うことが肝要である。大学の個性・特色は、各機関ごとの学位授与の方針、教育課程編成・実施の方針、入学者受入れの方針(将来像答申の述べるディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、アドミッション・ポリシーに対応)に具体的に反映されるものである」と述べた¹⁾。すなわち、マンガに関する教育を提供する大学における三つのポリシーを整理・分析することは、大学がマンガに関わる教育について、どのような方針のもとで目標を定めて学生を教育し、卒業させるのか全容を把握することができる。それを明らかにすることは、次の効用を生む期待が持てる。第一に、わが国におけるマンガに関わる人材育成の方向性を考える上で参考になる。第二に、マンガを大学で学びたい人にとって、概要を把握するうえで参考になる。第三に、マンガに関する教育課程を開設する大学が学生募集対策を検証し、今後の在り方を考察する契機となる。

1. マンガに関する教育

1.1 マンガと教育・文教施設

マンガに関する教育は、単発的または体系的且つ計画的に提供される教育課程など、様々な形態で行われている。例えば、地方自治体が文化政策の一環として、子供を対象としたマンガ教室を開く事例がある^(注3)。また、民間企業やNPOが子供を対象としたマンガ教室を開いている。これ以外に、私立高等学校の全日制及び通信制課程、専門学校など、学校がマンガに関する教育プログラムを提供する事例が顕著になった。さらに、マンガに関する教育課程を設置する大学が登場した。それに加え、マンガ専門の文教施設も誕生した。例えば、広島市まんが図書館(1997年開館)、京都国際マンガミュージアム(2006年開館)、明治大学現代マンガ図書館(2009年開館)、立川まんががばーく(2013年開館)などが挙げられる。このようなマンガに関わりのある教育・文教施設が社会に広がってきた。

1.2 大学におけるマンガに関する教育

大学にマンガが教育課程として開設されたのは2000年代からである。それ以前は、マンガに関連する科目が教養科目として開設された事例があった。その後、芸術・文化系の学科において、コースや専攻の形態による教育プログラムが形成された。現在では、「マンガ」を学部や学科の看板に掲げる大学が登場した。なお、大学において教育課程を新設するには、それに関わる教育研究の実績を持つ専任教員が配置されることや施設設備の整備などのソフト・ハード面における設置基準を満たす必要がある。特筆すべきは、著名なマンガ家が講師となって技術指導を行っている点である。第一線で活躍するマンガ家の技術指導が直接受講できるという話題性もあり、学生募集の面で大きなインパクトがある。

さて、表1はマンガに関する教育課程を開設している大学である^(注4)。すべて私立大学だが、私立学校には特有の理念や個性といった特性を教育に反映させることが期待される。この表では、マンガを名称に含むものを「学部・学科」(No.1)、「学科」(No.2~4)、「専攻またはコース」(No.5~9)の三つに分類できる。開設年度は、すべて2000年代

であり、入学定員は数十名～100名規模のものまで様々である。近年における入学定員比率は、ほとんどの大学が1.0を超過しており、おおむね安定した入学者定員比率を示している。設置場所は大都市から地方都市に渡るが、やや関西地域に集中している。それでは、三つのポリシーについて整理・分析してみよう（2013年9月現在、ポリシーをすべて示していない大学、学科やコース・専攻のポリシーを定めていない大学がある）。

アドミッションポリシーは、すべての大学が専門的な技能・技能を修得することを要件としていない。むしろ「コミュニケーションしたい方」「創造力や表現力を高めたい方」「この分野に関心があり、探求したい方」といった、講義を受けるための基本的な能力や素養を持っており、さらに、将来的に何をしていきたいかなど、この分野におけるビジョンを持つ人物を募集している。このなかで、具体的なアドミッションポリシーを示す大学がいくつかある。例えば、（No.1）京都精華大学、（No.5）名古屋造形大学、（No.7）文星芸術大学、（No.8）大阪芸術大学のポリシーは、明確且つ分かりやすく整理されている。

カリキュラムポリシーは、大学・学部・学科等の理念や教育目標に沿って方針が立てられている。その基で講義群が体系的・計画的に開設されているはずである。（No.1）京都精華大学では、マンガに関わる教育を通じて、歴史や社会文化などの要素を含む科目を開設している。2013年度は「基礎デッサン」「マンガ技法」「シナリオ技法」など、実践的な共通教育科目を開講している²⁾。（No.2）東京工芸大学では、社会の中で生きていくために必要な「人間力」を養う教育を行うとしている。2013年度は「マンガ制作実習」「マンガ表現デッサン」「デジタルマンガ演習」などの専門科目を開講している³⁾。また、（No.9）別府大学では、高度な専門教育に加え、創造力や発想力を高める教育を行っている。2013年度は「マンガ演習Ⅰ」「制作実習Ⅰ」「脚本演習Ⅰ」などの専門科目を開講している⁴⁾。以上の通り、マンガに関わる歴史や作家研究などの基礎科目に加え、作画や脚本作りに関わる専門科目が開講されている。

ディプロマポリシーについて、（No.1）京都精華大学では、一部に芸術文化の継承に貢献できる人材や国際的に活躍できる人材の育成など、マクロ的な観点で記述されている。また、（No.2）東京工芸大学のように、（知識・理解）（技能・表現）（関心・意欲・態度）（思考・判断）のように、具体的な到達目標を掲げる大学もある。この表現方法は、シラバスにおける講義の到達目標の記述方法でも、よく見受けられる。（No.7）文星芸術大学では、マンガ制作について読み手の観点を想定した完成度の高い作品が創作できる水準を定めている。

三つのポリシーは、各大学の理念や特性が内包されると思われるが、総括するとマンガ家の養成を目的とする教育ではなく、マンガというファクターを通じて教養・専門教育を行い、芸術文化に関わる人材養成を目指す大学が多い印象を受ける。

表1 マンガに関する教育を行う大学の三つのポリシー（筆者とりまとめ）⁵⁾

No.	大学名	学部	学科	専攻またはコース	開設年度	入学定員数	入学者定員比率等	アドミッションポリシー	カリキュラムポリシー	ディプロマポリシー
1	京都精華大学	マンガ	マンガ		2006	(2012年度:学科)96	(2012年度:学科)1.1	<p>【マンガ学部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・創造力を働かせ、自分自身の未来について思い描ける人 ・新しい表現の可能性を信じ、切り開く夢がある人 ・他者に対して発信したりコミュニケーションしたい人 ・他者との共同作業を楽しむことができる人 	<p>【マンガ学部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マンガを学ぶことが知識や技術の修得だけでなく、実践性を持ち、しっかりした精神を持った技術として各学生の身につくように指導する ・マンガ・アニメーションを学ぶことで、現代社会の諸相や過去の歴史、また人間や異文化についても理解を深めることができる ・実作を通して技術を学ぶと同時に、マンガ・アニメーションを研究対象として正対し、理論的にもアプローチして学習することができる ・第一線の表現者、実作者、プロデューサー等からの直接指導により、最前線の現場の実際を教育内容に取り入れる。 ・共通言語としてのマンガ表現を通じて、多くの学生との交流できる機会をカリキュラムの中で設定する。 	<p>【マンガ学部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国境を越える伝播性を知り、世界中で活躍できる作家を育成する ・後世にマンガ文化を伝え、さらに発展することに貢献できる人を目指す ・マンガ・アニメーションが、あらゆる分野で活用されるメディアであることを理解し、応用できる人材を養成する

No.	大学名	学部	学科	専攻またはコース	開設年度	入学定員数	入学者定員比率等	アドミッションポリシー	カリキュラムポリシー	ディプロマポリシー
2	東京工芸大学	芸術	マンガ		2007	60	(2012年度)1.2	<p>【マンガ学科】</p> <p>マンガ学科では基本的なコミュニケーション能力を有し、知的な好奇心が旺盛で、明確な目的意識を持ち主体的に行動できる人を求めています。入学後は、ストーリーマンガを軸とした多様な分野から自身の目標を定め、創作や研究活動を通して自己の表現を確立し、新しい文化や価値を発信して行くことができる資質が必要となります。原則として、入学前にマンガに関する専門的な知識や技術を習得している必要はありませんが、高校での学習において国語（古文、漢文を除く）を履修し、その他は幅広い分野を習得していることが望まれます。</p>	<p>【マンガ学科】</p> <p>マンガに関する豊かな教養や高度な知識、技術、志を育む教育を行い、マンガ家、原作者、編集者を始め、イラストレーター、評論家、研究者等、新しい文化や価値を発信できる人材を育成することを目標としています。入学当初より、社会の中で生きていくために必要な「人間力」を養う基礎科目と平行して、1・2年次では「ストーリーマンガ」「イラストレーション」「編集・研究」の3つの領域の履修モデルをもとに専門科目を履修し、マンガに関する幅広い知識や技術を学び、専門分野に進むための基礎を習得します。</p> <p>3年次より「ストーリーマンガ」「カートゥーン&イラストレーション」「デジタル表現」「マンガ研究・編集」の4つの分野の一つに所属しながら、専門性の高い知識と技術を学び、さらに高度な創作活動および研究を行います。4年次では、最終的には4年間の集大成としての卒業制作研究に結びつけていきます。</p>	<p>【マンガ学科】</p> <p>以下に掲げた6つの能力を身につけた学生に対して、学位を授与します</p> <p>①調和のとれた豊かな感性と幅広い教養を身に付けている。（知識・理解）</p> <p>②創作に必要な基礎的技術を身に付けている。（技能・表現）</p> <p>③創作に必要な専門的技術を身に付けている。（技能・表現）</p> <p>④芸術全般に対しての広い知識と視野を有する。（知識・理解）</p> <p>⑤マンガ周辺の新しい文化や価値を発想し、発信することができる。（関心・意欲・態度）</p> <p>⑥未来のマンガ表現の可能性を模索できる柔軟性と創造性を有する。（思考・判断）</p>
3	京都造形芸術大学	芸術	マンガ		2011	(2013年度)45	(2013年度)1.0	<p>【マンガ学科】</p> <p>「芸術を学ぶ意欲と社会貢献をめざす高い使命感をもった学生の受け入れ」、表現技術の優秀なだけに止まらず、評価基準の異なる複数の入学試験を実施して多様な学生を選抜している。</p>		
4	神戸芸術工科大学	先端芸術学部	まんが表現学科		2010	(2013年度)45	(2013年度)1.1	<p>【まんが表現学科】</p> <p>まんが表現学科は誰もが持っている「ひとかけらの才能」を理論に裏付けられた反復的なトレーニングと膨大な課題によって表現者へと導いていきます。そのカリキュラムで鍛えるには、プロになりたいという情熱、何かを表現せざるにはおれない、しかしその方法をもたないもどかしさ、そして、どこかに自分の居るべき場所を探す切実さのどれかが必要です。求めるのは、まるでかつてのぼくたちのような、未だ何者でもなく、可能性以外の何も持ち得ない学生だといえます。だからこそ「ここ」、つまり、まんが表現学科で「何か」になるきっかけをつかみたい、という気持ちが何よりも大切です。</p>	<p>【まんが表現学科】</p> <p>まんが表現学科のカリキュラムは、まんがを学ぶプログラム、そして、まんがを通して物事を考える技術を学びます。まんが表現の技術論・方法論は21世紀、劇的な変動を遂げています。そのための紙媒体主体の表現からデジタル・ネットワーク技術による映像表現へと進化しています。しかしこうした激動の時代にあってもまんが表現の基礎や素養は、時代の変化に左右されない表現の基本になる知識・技術たりえます。だからこそ、まんが以外の多くの表現の「基礎体力」にもなりうるまんがを徹底して学びます。まんが表現学科では、創作のための方法を理論、しかし、それを頭ではなく体で覚えるため膨大な課題制作に求めます。</p>	<p>【神戸芸術工科大学】※抜粋</p> <p>高い次元のデザイナー、アーティスト、クリエイターの養成をめざし、具体的には、多様な科学技術を人間の立場から駆使し、人文、社会、自然の諸科学にまたがる豊かな教養と知識に加えて、芸術的感性を基盤にした総合的なデザイナー、アーティスト、クリエイターの育成を教育目標としたカリキュラムを編成し、所定の単位を修めた学生に卒業を認定し、学位を授与します。</p> <p>①、「科学と技術」「芸術と文化」「人間と歴史」の学問分野にまたがる「芸術工学」の基礎知識を身につける。</p> <p>②（省略）</p> <p>③先端芸術学部では、時代の発展・変化を背景に生まれる現代アート及びメディア・アート、さらには、伝統的な文化・芸術から創生される新しいアーツ&クラブを先端芸術として表現活動ができる力を身につける。</p>
5	名古屋造形大学	造形	造形	マンガ	2008年に「マンガクラス」として開設され、2010年に「マンガコース」となる	(2013年度)35	(2013年度)1.0	<p>【名古屋造形大学】</p> <p>名古屋造形大学は、多様な個性を認め合い、自らの知性と感性を磨く創造力豊かな人材を育成します。また、異なる文化への深い理解力を有する人材を育てるとともに、地域の伝統や文化への共感を持ち、その発展に貢献できる人材を育成します。この理念に基づき、本学は次のような人材を求めます。</p> <p>①豊かな発想力と高度な造形力を身につけ、次の時代を切り拓く気概のある人</p> <p>②自らの個性を伸ばし、他者の個性を尊重する人</p> <p>③地域や社会の文化に積極的に貢献する意志のある人</p>	<p>【名古屋造形大学】※抜粋</p> <p>名古屋造形大学は、同期学園の建学の精神である「同期精神」、換言すれば「共なるいのち」を生きることを教育・研究の基本理念として、真に他者と繋がりがあう生きた造形力を養い、社会に有為な人材を育成する。具体的には以下のような考え方のもとに、この達成を目指す。1. 造形分野の各領域が越境しながら進展している造形表現の状況を見据え、多様な社会的ニーズに応えるため、「領域を越える、領域を究める」ことを目指してカリキュラムを編成する。</p> <p>2. 広がりを見せる造形分野に対応したコースを編成する。従来の枠では捉えきれない領域への学生にも応え得る多様なコースを置く。</p> <p>3. 授業科目を「基礎科目」、「専門講義・実習科目」、「専門実技・演習科目（分野別専門科目、造形交流演習科目）」の3区分で構成する。</p>	<p>【名古屋造形大学】</p> <p>造形力を身につける第一歩として、創作・研究と向かい合う姿勢を身につける。</p> <p>・自主存在の認識の上に、創作・研究に向かっているか。</p> <p>・広く社会を認識することによる深い創作・研究に向かっているか。</p> <p>・自らの創作・研究を他社に伝えるコミュニケーション能力を獲得できているか。</p>

No.	大学名	学部	学科	専攻またはコース	開設年度	入学生数	入学者定員比率等	アドミッションポリシー	カリキュラムポリシー	ディプロマポリシー
6	大手前大学	メディア・芸術学部	芸術学科	マンガ制作専攻プログラム	2005	メディア・芸術学部の定員200名(マンガ制作専攻プログラム(マンガ制作専攻プログラムの定員なし))	(2013年度1年生)マンガ・アニメーション基礎の履修者数はメディア・芸術学部73名,他2学部26名(計99名)	【大手前大学】※抜粋 ①すでに学びたい分野がはっきりしており,本学でその分野に絞って深く学習したい学生 ②入学後に自分の興味を確認したうえで,ひとつの分野を選んで深く学習したい学生 ③特定の分野に限らず複数の学問領域を「主専攻+副専攻」として学んでみたい学生 こうしたさまざまなケースに対応するために,入試は学部単位で実施していますが,入学後は学部を超えた履修を可能にしており,また,入試の段階でも3学部総合選抜制を実施するなど,柔軟な制度を採用しています。本学では,「学ぶ意欲があること」を最も重視しています。	【大手前大学】※抜粋 大手前大学では,学生一人ひとりが身につけるべき「社会人基礎力」の必須科目として,「C・PLAT」というコンセプトを掲げています。C・PLATはCreativity(創造力),Presentation(プレゼンテーション能力),Logical Thinking(論理的思考力),Artistic Sense(芸術的感覚),Teamwork(チームワーク)を表します。また,学生が「自分で創る専門性」を習得するために,特色あるカリキュラムを編成しています。特に,新入生が大学レベルの学習にスムーズに順応できるよう「初年次教育」の充実を図っており,内容は次のとおりです。 ①ベーシック必修科目…大学コミュニティへの自然な参入を促し,知的活動の基礎力を養成する科目。 ②ベーシック選択科目…幅広い一般教養を身につけるための科目。 ③専門教育科目(トリアル科目)…専門的な学習への入り口としての「お試科目」。	【大手前大学】※抜粋 卒業資格を得るためには,学則などに定めた要件を満たすことが求められます。卒業に必要な修得単位数は,各学部ともベーシック必修科目16単位,専門必修科目4単位,所属学部専門教育科目24単位を含め,計124単位としています。このように所属する学部の専門教育科目数を必要最小限に設定しているのは,ひろくさまざまな領域を学び,知見と判断力を高めるためです。本学は「リベラルアーツ」型教育を基本としており,その目標を達成するためには,一つの領域を究めることも,ひろく多様な領域を学ぶことも,どちらも有効な学び方であると考えています。
7	文星芸術大学	美術	美術	マンガ	2005	マンガ専攻の定員は最大40名	ここ数年は約0.7で推移	【マンガ専攻】 ①マンガで自らの表現活動を展開したい人。 ②マンガのさまざまなジャンルの表現・作品を理解する人。 ③マンガを使って社会に役立つ存在になりたい人。 ④マンガ以外にも様々な分野に興味を持ち学習する人。 ⑤自ら考え,自ら答えを見つけて出す努力をし続けられる人。	【マンガ専攻】 ①共通基礎カリキュラムを通して,他の芸術に触れ,感性と人間性を磨く。 ②マンガの授業では作画道具や制作手順や,PCの基本操作,マンガ作成ソフトの操作手法など,アナログやデジタルを問わず作画に関する基礎知識を修得すると同時に,ストーリーの発想方法,まとめ方を学んで発想力,構成力を身につける。 ③マンガを含む視覚表現は作者と鑑賞者とのコミュニケーションであることを理解させ,作品制作を通じて,鑑賞者に表現意図を伝達する能力,技術を磨く。 ④お互いのマンガ作品を読み合い意見交換をし,自分の作品について発表することでプレゼン能力,コミュニケーション能力の向上を図る。 ⑤3,4年のゼミでは,自分の描きたいマンガのジャンルに合ったゼミを選択し,自分の作品をさらに高い次元で完成させる。 ⑥卒業制作では自分の作品を一冊の本にまとめることで印刷に関する知識を,またイベントで販売することで,世間に作品をアピールする経験をさせる。	【マンガ専攻】 ①自分のマンガ作品を,読者に伝わるものに仕上げられること。 ②自分のマンガ作品について,全体像を把握でき,そのテーマをしっかりと説明できること。 ③マンガ制作におけるストーリー構成で身につけた論理的な思考を,一般社会でも活用できること。
8	大阪芸術大学	芸術	キャラクター造形	漫画,アニメ,ゲーム	2005年度に漫画,アニメ,ゲームコースを開設,2013年度に,フュージョンコースを開設	全体で160名(コースの定員なし)		【キャラクター造形学科】 キャラクター造形学科では,キャラクターを生み出す技術や知識,プロデュース方法などを総合的に学習し,自己の世界観を創造し表現できる力を育成します。 *求める人物像 ・学生時代を「能力と可能性を高め表現力を鍛える時期」と捉え自己研鑽できる人物 ・自分の世界観を伝える技術,能力を高め,社会的視野を広げたい人物 ・キャラクター創造のための総合的な知識・技術を身につけたい人物 ・さまざまなメディアを使ったキャラクター・プロデュースに興味のある人物	【キャラクター造形学科】 授業では,漫画制作をおこなうにあたって,まず確固たるキャラクターを創ることからスタートします。その上でキャラクターを活かす原作・作画のそれぞれを学びます。1年次には基礎技術を,そして2年・3年次の演習・実習で想像力,表現力を鍛えつつ,より実践的な作品制作を進めていきます。4年次にはプロとして認められるための作品づくりに専念します。またクリエイターとしての知識や技術の学習だけでなく,プロデューサーやディレクターとしての視点も併せて養えるように,漫画に関する編集や批評の方法も同時に身に付けていきます。	【芸術学部】 建学の精神を体現し,クリエイター,教育者,そして芸術の良き理解者として社会に貢献し得る能力を学修していることを求める。成績評価は卒業所要単位数の修得,卒業制作・論文・演奏の審査により,学位を授与する。 ①創造性と独創性:創作・表現・研究活動への主体的な取り組み/独創性・創造性の伸張/専門的な能力の獲得 ②社会創造・貢献への意欲・能力:芸術を通じた社会創造・社会貢献の経験/社会人として必要な課題解決能力の獲得 ③境界領域の開拓:他領域・異分野への視野の獲得/コラボレーションの経験

No.	大学名	学部	学科	専攻またはコース	開設年度	入学定員数	入学者定員比率等	アドミッションポリシー	カリキュラムポリシー	ディプロマポリシー
9	別府大学	文学部	国際言語・文化	マンガ・アニメーション	2004 (芸術・文化学科に設置), 2009 (国際言語・文化学科に設置)		コースの定員なし	【マンガ・アニメーションコース】 マンガおよびアニメーションの創作・研究を通して、真理を探究することに強い意欲を持ち、広く文化全般に関心を持つとともに、自身の総合的創造力を向上させたいと望む学生を受け入れる。	【マンガ・アニメーションコース】 ①創造的意欲を高める教育 オリジナルなマンガ・アニメーション作品の制作を軸に、無から有を生む楽しさと意義を基本姿勢に持ち、発想力を高めめす。 ②広く制作の現場で役割を果たせる人材を育成する教育 マンガ・アニメーション作品の企画・制作を学ぶ中で、多様な制作部門でプロデューサー、ディレクターとしての能力(企画力・構成力・マネジメント力)を発揮できる人材を育成します。 ③画像処理能力を中心に情報の収集と整理能力も含めたデジタル技術の習得 マンガ・アニメーションの作品製作を通し、PCによる創作技術を高めます。また、さまざまな情報のアーカイブと整理・活用能力も高めます。 ④地域からの創造的発想を尊重する教育 地域にテーマを見だし、創作に結びつけ、マンガ・アニメーション作品によって広く世界に発信します。 ⑤人間関係に愛着を感じさせ、コミュニケーション能力と意欲を高める教育 創作は人と人とのコミュニケーション手段であることを確認し、人間と自然に対する愛情を生き方の基本に据えます。	【マンガ・アニメーションコース】 ①マンガ・アニメーション分野の専門的な知識と技能、幅広い学問的教養を習得している。 ②広く情報を収集・整理し、独自の発想によって作品を企画し、創造する意欲と表現力を身につけている。 ③多方面の仕事で応用の効くデジタル処理能力を有している。 ④地域社会や国際社会に対する旺盛な関心を持ち、習得した知識と表現力を通して社会に貢献しようとする意欲と実践力を身につけている。 ⑤社会で役割を果たすためのコミュニケーション能力を身につけている。

2010年に京都精華大学は、我が国初のマンガに関わる大学院を開設した。表2は、同大学院(博士前期)の三つのポリシーを示すものである。アドミッションポリシーは、一定の専門知識や技能を有し、研究・実践を行う明確な意思を持つことを求めている。カリキュラムポリシーは、高度な専門知識・技能を履修する教育プログラムが示されている。ディプロマポリシーは、(知識・理解)(思考・判断)(技能・表現)などに分類して、具体的な基準が示されている。ただし、2012年度の入学者定員比率は、博士前期及び博士後期ともに1.0を割っている。

同大学院は開設当時、マスコミ等でも大きく取り上げられ話題になった。新しい研究分野であるマンガについて、学術研究を深化させ業績を蓄積することは、我が国における芸術文化の発展に寄与する期待が持てる。また、研究の深化により教育及び社会貢献への反映につながる。さらに、我が国のマンガやアニメーション作品は、国際的に注目を集めていることから、世界に向けた情報発信を行う期待が持たれる。なお、マンガに関わる研究については、2001年に日本マンガ学会が設立されており、学術的な観点により研究が進められている。

表2 マンガに関する教育を行う大学院の三つのポリシー(筆者とりまとめ)⁶⁾

大学院名	研究科	課程	専攻	開設年度	入学定員	入学者定員比率	アドミッションポリシー	カリキュラムポリシー	ディプロマポリシー※抜粋
京都精華大学大学院	マンガ	博士前期	マンガ	2010	20	(2012年度)0.8	【理論系】マンガ・アニメの先行研究をめぐる基礎知識、および学術論文の作成能力を持つ者。広義のマンガ領域に強い関心を持ち、将来その領域において研究・実践を行う明確な意志を持つ者。 【実技系】マンガ領域における専門知識・技能について理解する能力があり、作品制作において高い構想力を持つ者。将来その領域において研究・実践を行う明確な意志を持つ者。	マンガ領域における高度な専門知識・技能を体系的に履修するとともに、実技・研究の両面において、「作家志向」、「研究者志向」および「高度専門職業人志向」に実践的に対応した教育課程を編成する。	【理論系】(知識・理解)国内外におけるマンガ・アニメ研究の知識とその分析力をもち、日本語とITスキル面で発表能力を有している。 (思考・判断)常にマンガ・アニメという視点から表現・文化・社会の学術的探求を進め、その成果を他分野や他国に対して発表する能力を有している。 (技能・表現)マンガ・アニメ文化とその研究の現状に応じた形で研究問題を設定し、他分野に通じる根拠のある研究成果を発表している。 【実技系】(知識・理解)国内外のマンガとその環境についての知識を制作活動に適用すると同時に、制作を発表する日本語力とITスキルを有している。 (思考・判断)マンガに対する知識を制作と理論の両面から融合させ、他分野や他国の作家と交流することによって自らの視点を広げている。 (技能・表現)高度な技能と構想力に基づき、グローバル化と情報化の下で変容しつつあるマンガ文化に貢献できる制作活動をしている。
京都精華大学大学院	マンガ	博士後期	マンガ	2012	4	(2012年度)0.8			

2. 認証評価の基準における三つのポリシー

マンガに関する教育を行う大学のポリシーは表 1 で紹介したが、本章では認証評価の観点における三つのポリシーを紹介する。認証評価は、自己点検・評価及び第三者評価を通じて、教育研究水準の向上を図ることを主な目的とする制度である（学校教育法第 109 条）。すべての大学が認証評価機関の定める基準に基づき 7 年に 1 度、審査を受けなければならない。認証評価機関は複数あるが、二つの認証評価機関における三つのポリシーに関わる基準を整理する（表 3）。アドミッションポリシーに関する基準では、学生受入れの方針と方法を明示することが定められている。カリキュラムポリシーに関する基準では、教育課程及び編成方針を明確化することや教育成果を上げるための方策を整備・充実することが定められている。ディプロマポリシーに関する基準では、単位認定及び卒業・修了等の認定に係る基準の明確化やその厳正な適用が定められている。

なお、認証評価では、各機関が定める基準について、要件を満たしているかどうかを、大学から提出された自己評価書や根拠資料、訪問調査などを基に審査する。この制度より、大学における教育の質的向上が実現すれば、優秀な人材を育むことになるので、業界の活性化や発展に結びつく期待が持てる。

表 3 認証評価の観点による三つのポリシー⁷⁾

ポリシー	基準	大学基準協会「大学基準」	日本高等教育評価機構「大学評価基準」
アドミッションポリシーに関する基準		[学生の受け入れ] 5 大学は、その理念・目的を実現するために、学生の受け入れ方針を明示し、その方針に沿って公正な受け入れを行わなければならない。	2-1 学生の受入れ 2-1-①入学者受入れの方針の明確化と周知 2-1-②入学者受入れの方針に沿った学生受入れ方法の工夫 2-1-③入学定員に沿った適切な学生受入れ数の維持
カリキュラムポリシーに関する基準		[教育内容・方法・成果] 4 大学は、その理念、目的を実現するために、教育目標を定め、それに基づき学位授与方針および教育課程の編成・実施方針を明示しなければならない。また、こうした方針に則して、十分な教育上の成果を上げるための教育内容と方法を整備・充実させ、学位授与を適切に行わなければならない。	2-2 教育課程及び教授方法 2-2-①教育目的を踏まえた教育課程編成方針の明確化
ディプロマポリシーに関する基準			2-4 単位認定、卒業・修了認定等 2-4-①単位認定、進級及び卒業・修了認定等の基準の明確化とその厳正な適用

3. 小括

本稿は「大学におけるマンガに関する教育の状況を整理・分析する」ことを目的として、アドミッションポリシー、カリキュラムポリシー、ディプロマポリシーの観点から整理・分析した。その結果、「総括するとマンガ家の養成を目的とする教育ではなく、マンガというファクターを通じて教養・専門教育を行い、芸術文化に関わる人材養成を目指す大学が多い印象を受ける」とまとめた。さらに、認証評価制度により、この分野における教育の質的向上が図られることの期待を述べた。ただし、現時点において、大学におけるマンガに関する教育は緒に就いたばかりである。その教育的成果が明らかになるのは、在校生をはじめ卒業生や修了生が様々な創作活動などパフォーマンスを通じて、社会的にどのような影響やインパクトを及ぼしていくかにかかっている。相当な時間を要するかもしれないが、その蓄積が大学の社会的評価となって信頼性や期待度の向上につながるだろう。

今後の大学におけるマンガに関する教育の在り方を考える場合、以下の点に留意すべきである。

第一に、大学において、マンガに関する教育を学ぼうとする者は、興味本位で入学するのではなく、大学及び学部・学科の目的や三つのポリシーを十分理解したうえで、自己のビジョンや具体的な進路を考えておくべきである。

第二に、大学は掲げる目標に加え、三つのポリシーが適正なものか定期的に検証する必要がある。この点は、認証評価制度において明らかにされるだろう。この検証の結果、課題があれば改善を検討せねばならない。

以上を検討することは「志願者が望む教育と教育課程のマッチング」「休退学者の抑制」「教育の質の向上」につながる期待が持てる。

ところで、我が国の大学政策は、ユニバーサル段階にあるなか、教育の質の保証を図るため学習成果を重視するようになった。18歳人口の減少を背景として、多くの大学で経営改革が叫ばれる混沌とした状況であるが、学位を授与する大学の最低限の責任として、社会的責務を強く認識し教育改善に努めていく必要がある。

[引用文献]

- 1) 中央教育審議会大学分科会制度・教育部会, 学士課程教育の構築に向けて (審議のまとめ), p.7, 2008.
- 2) 京都精華大学ウェブサイト, http://www.kyoto-seika.ac.jp/edu/manga/manga_dept/, 2013年9月27日確認.
- 3) 東京工芸大学ウェブサイト, <http://www.t-kougei.ac.jp/arts/manga/curriculum/>, 2013年9月27日確認.
- 4) 別府大学ウェブサイト, <http://www.beppu-u.ac.jp/course/letters/linguistics/manga.php>, 2013年9月27日確認.
- 5) 京都精華大学ウェブサイト (前掲), 東京工芸大学ウェブサイト (前掲), 2013年9月26日に京都造形芸術大学より回答を得た, 2013年9月17日に神戸芸術工科大学より回答を得た, 2013年9月24日に名古屋造形大学より回答を得た, 2013年9月25日に大手前大学より回答を得た, 2013年9月27日に文星芸術大学より回答を得た, 2013年9月25日に大阪芸術大学より回答を得た, 2013年9月18日に別府大学より回答を得た.
- 6) 京都精華大学ウェブサイト (前掲).
- 7) 大学基準協会, 「大学基準」およびその解説, p.54, 2011. 日本高等教育評価機構, 平成26年度版 大学評価基準, p.2, 2013.

(注1) 本稿でいう「大学におけるマンガに関する教育」とは、マンガ家及びマンガ原作者、その他マンガに関わる職業人養成のための技術的な指導や、マンガ産業に関わる講義 (実技指導等を含む) などを意味する。

(注2) アドミッションポリシーは入学者受入方針, カリキュラムポリシーは教育課程編成・実施方針, ディプロマポリシーは学位授与方針を意味する (中央教育審議会, 2008)。

(注3) 地方自治体が子供を対象とするマンガ教室を開催した事例として、高知県 (2013) がある。

(注4) 表1で紹介する大学は、考察の展開上、掲載が必要と判断した教育課程である (本稿で紹介した以外に、マンガに関わる教育を行う大学がある)。

平成25年 (2013) 10月1日受理

平成25年 (2013) 12月31日発行